

令和 5 年 度



# 学 校 概 要

【教育目標】  
○進んで学ぶ子  
○思いやりのある子  
○笑顔はじける元気な子



## 校 歌

作詞 校歌制定委員会

補作 大橋 渡

作曲 松本 仁 三

一、大倉矢倉 山なみは

朝の光に かがやいて

ああ美しい 小学校

大宮の森の そよ風も

朝だ朝だと よんでいる

二、大空青く 雲白く

小鳥も歌う 野はひろい

ああ美しい 小学校

高いいちようの 木の下に

みんな手に手を つなごうよ

三、真名子はいずみ わくところ

ゆめも望みも 限りなく

ああ美しい 小学校

かしこくなおく すこやかに

ぼくもわたしも はげもうよ

## 栃木市立真名子小学校

〒 322-0605

栃木県栃木市西方町真名子1089-1

電 話 (0282) 92-7604

FAX (0282) 92-0290

E-mail manago-es-02@tochigi-city.ed.jp

## 1 学校沿革の概要

|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 明治 6年 8月 | 真名子村（旧）円満寺において開校し、日就学舎と称する。         |
| 〃 23年11月 | 校舎落成する。（間口15間、奥行5間）                 |
| 〃 26年 4月 | 尋常高等併置の制となる。（真名子尋常高等小学校）            |
| 〃 26年12月 | 旧校舎の移転改築竣工する。（明治44年10月着工）           |
| 昭和16年 4月 | 国民学校令施行により真名子国民学校と称する。              |
| 〃 22年 4月 | 学制改正により真名子村立真名子小学校となる。              |
| 〃 30年 4月 | 町村合併により西方村立真名子小学校となる。               |
| 〃 45年 2月 | 改築校舎完成する。（鉄筋コンクリート2階建）              |
| 〃 45年11月 | 校歌制定 体育館完成                          |
| 〃 47年 8月 | 25mプール完成する。                         |
| 〃 63年 9月 | 交通安全功労団体として、栃木県警察本部長より表彰を受ける。       |
| 平成元年 2月  | 「地域に根ざした特色ある学校経営」に対し栃木県小学校教育研究会より受賞 |
| 〃 6年10月  | 町制施行により、西方町立真名子小学校となる。              |
| 〃 18年 1月 | 県「省エネチャレンジ大作戦」最優秀賞受賞                |
| 〃 19年 2月 | 栃木県健康推進学校優秀校受賞                      |
| 〃 21年 5月 | プール給水管改修工事竣工                        |
| 〃 23年 9月 | 校舎耐震化工事完了                           |
| 〃 23年10月 | 市町合併により栃木市立真名子小学校となる。               |
| 〃 25年12月 | 体育館耐震化工事完了                          |
| 〃 26年 2月 | プール塗装改修 体育小屋改築                      |
| 〃 27年 9月 | 普通教室・特別教室エアコン設置                     |
| 〃 29年 2月 | 校庭東の大銀杏伐採                           |
| 〃 29年10月 | 校舎内トイレ改修                            |
| 令和 3年 3月 | 2年教室 床貼り替え                          |
| 〃 3年 4月  | GIGAスクール構想により、児童にタブレット端末貸与。         |
| 〃 4年 1月  | 昇降口改修                               |



## 2 学校運営の重点

- 真名子小学校は、明治6(1873)年8月1日、円満寺にて「日就学舎」として開校以来、真名子地区とともに歩んできました。平成23(2011)年10月1日の栃木市との合併以降も、地域の方の指導や援助を受けながら、「地域とともにある学校づくり」を行ってきたところです。
- 本校の児童は、素直で思いやりがあり、人に優しく接することができます。地域の中で、協力し合って生活しています。自分たちが住んでいる地域を知り、文化に触れることは、ふるさとを誇りに思い、大切にしていこうという気持ちを高め、つないでいこうという思いを育みます。
- 「ふるさと真名子」の文化を「ふるさと学習」として学び、自己の生き方について考えていくためには、地域と連携した取組が必要です。
- 以上のことから、「ふるさと学習」を軸とした教育を行うために、本年度の学校運営の重点を

### 「ふるさと真名子」と子どもの心に刻む教育の実現

とし、以下の2項目の実践を通して、真名子小学校ならではの教育を推進します。

#### 1 「ふるさと真名子」の文化を継承し創造する児童を育てます。

- ・生活科や総合的な学習は『ふるさと学習』を柱とし、地域の歴史・文化・伝統・特色等と関連づけた学習をします。
- ・「ふるさと民話クラブ」「絵手紙クラブ」「オカリナクラブ」の3つの文化系クラブを実施し、「ふるさと真名子」の情緒にふれさせます。
- ・真名子の旧所名跡を訪ねる「ふるさと交流ウォークラリー」を実施し、長く続く「ふるさと真名子」の伝説や民話を学ぶことで、郷土愛を深めさせます。
- ・「ふるさと真名子」のお囃子を、地域の方と6年生で演奏し、ふるさとの文化を継承します。



#### 2 児童が地域の一員であることを実感できる機会を作り、地域の方に感謝する気持ちを高めます。

- ・大宮神社清掃やひとり暮らしのお年寄りへ年賀状を送ること等を通して、地域への関心を高めます。
- ・学習活動に地域学校ボランティアの力を積極的に取り入れ、「ふるさと真名子」のよさに気付かせると共に、地域の方への感謝の気持ちを育てます。

3 学校運営全体構想図

